

《 第 135 回 エフエムぬまづ番組審議会 議事録 》

1 開催年月日 2020 年 11 月 13 日(金)17:30 より

2 開催場所 沼津市寿町 8-28 メディアプラザ 1F 会議室

3 委員出席

委員総数 6 名

出席委員数 4 名

出席委員氏名 荻生 昌平

井上 純代

大川 皓平

杉本 万千

欠席委員氏名 千野 慎一郎

保坂 典子

放送事業者側出席者名 杉山 康則

植田 航平

4 議題 聴取番組名「スマイルオン・サンデー」

2020 年 10 月 25 日(日)9:00~12:00 放送分

5 審議内容

(事業者側:植田)定刻になりましたので、只今から第 135 回番組審議会を開催致します。

本日、千野委員、保坂委員は都合により欠席となりますが、委員総数の 2 分の 1 以上の出席となりますので、番組審議会は成立致します。

本日、ご審議頂く番組は、毎週日曜日、朝 9 時から 3 時間の生放送でお届けしています「スマイルオン・サンデー」の番組内で放送しました『ららぽーと沼津 1st ANNIVERSARY 「LOVE NUMAZU イベント」水産デー』が開催されたららぽーと沼津からの生中継レポートの様様です。

このイベントはららぽーと沼津が沼津市とコラボして「地産地消」「特産品 PR」のために実施したイベントで、番組では、このイベントの様子と主催者・出展者のインタビューの様様を現地から生中継しました。それではよろしくお願ひします。

(番組 視 聴)

(荻生委員長) それでは大川委員から意見、感想をお願いします。

(大川委員) この中継については、会場に呼び込みたいという狙いであれば、内容は非常に良かった。レポートの中で商品の紹介もあったが、自分としては、「ビジュアル」が欲しく、コストエフエムにも Twitter や公式ホームページがある思うので、写真や商品紹介をリアルタイムで表示してもらおうと、Twitter のフォロワー数も伸び、コストのホームページを見に来るリスナーも増えて、もっと良くなると思う。

(杉本委員) このイベントは、とても楽しかったのだろうなという感じがレポートの雰囲気でもわかった。非常に情景が浮かぶような内容で、紹介された商品を食べてみたいと思った。

(井上委員) この中継を現地から生で中継することを前もってリスナーには伝えていたのか。

(事業者側:植田) 中継については、事前告知という形で番組内で行っていた。

(井上委員) 農産物の地産地消はよく言われるが、海産物をここでやったというのが新鮮であった。沼津市の海産物販売は、港では良くやるが、駐車場の問題が上がることもあるが、この会場だと駐車場の心配がかなり減るのではないかと思った。今後もこのようなイベントが沼津市とコラボできるのであれば、ちょうどいい場所であり、イベントがあればお客さんが集まるイコールそのお客さんが他の店舗も回遊することが考えられ、今後も使用させていただけるのであれば、すごくいい場所であると思う。レポート内容としては、ゲストで来ている方は、一生懸命話をするので、ついつい早口になってしまっているが、レポーターの植田さんは、ゆっくりと話され、ポイントとなるところでは更にゆっくりとしゃべっていたので、とても聴き易かった。

(荻生委員長) 会場となった現場からの中継は、オープン前から始まっていたが、オープン前の臨場感がひしひしと伝わってきた。レポーターの植田さんのしゃべりがとても良く、うまくリスナーを誘導している。しゃべる内容も良く考えられており、「材料」から始まり、それを「どう料理するか」のアイデアが盛り込まれていて、更にそれを「食べてみよう」という、3つの特徴を出している。リスナー誘客のために、しゃべりで熱く語り伝えているところがすごいと思った。

(大川委員) 植田さんの声は、どの番組でも聴き取り易く、軽妙なトークで盛り上げ、楽しく聴かせてもらっている。今回もレポートしては、とても良かったと思う。このイベント中継は、沼津市からの依頼であったのか。

(事業者側:植田) 昨年9月に沼津市の水産海浜課とタッグを組んで、沼津港で公開生放送を実施してから、かなり密になっていて、今回この業務を頂いた。

(大川委員) 今回は市のイベントであったが、今後他の団体がイベントをやる際にも、レポートを

入れられることができれば、番組を作ることができ、更には顧客の誘客にも繋がっていく。

(杉本委員) 植田さんは活舌も良く、非常に聴き易い。

(荻生委員長) 声もソフトで判りやすい。最近では、ちょっと癖のあるキャスターが多いが、それが無くて、非常に聴き易く、言葉がはっきりよく判る。

(井上委員) この中継は大成功であったと思う。沼津市はイベントを開催しても、意外に市民が知らないことが多い。たとえ市であっても宣伝が上手であった方が人も集まるし、やっただけの効果が出ると思う。このようにマスメディアとタッグを組んで、このようなイベントを「やります」「やっています」と上手に広く知られるようにしてもらいたい。三島市は宣伝が上手だけれども、沼津市は公の宣伝があまり上手でないと聴くので、このような機会を利用して、沼津を盛り上げてもらいたい。

(荻生委員長) 今回の番組を聞いて、「見に行きましょう」「食べてみましょう」が伝わってくる。それが非常に大事である。宣伝する側からすれば、「買ってもらって、食べてもらって」が目的であり、会場に来てもらって、沼津に美味しいものがあることをアピールすることである。目的は、多くの人にマスメディアを通じて意思を伝えていくというところにあるのではないか。今回は聴いているとそれが伝わってくる。とても良いと思う。

(事業者側:植田) 中継に伺う際には、単にイベントPRをするだけではなく、そのイベントを通じて皆さんに何を伝えたいかを大事にしている。ただ「やっています、来て下さい」ではなく、「来てもらって、知ってもらって、買ってもらって」とそこまでいって初めて沼津の経済を応援して、地元の魅力の発見に繋がると思っているので、今回はそこを重視し、放送で伝えた。自分は、リポート中継に行く際は、シナリオは

作らず、その場で感じたこと、臨場感をリスナーに伝えたいと考えてやっている。コロナ禍ではあるが、今後も経済活性化のためにやっていくイベントも多いと思うので、沼津市を盛り上げることをマスメディアとして協力し、更にはエフエムぬまづを知ってもらうきっかけに繋がっていきたい。

(事業者側:杉山) 貴重なご意見ありがとうございました。頂いたご意見を参考にして今後のイベント中継に役立て、更には沼津市等のイベント主催者とも話をしていきたいと思っています。

6 審議会での意見についてとった措置について

各委員から頂いた意見や感想については、今後の自社制作番組に活かし、より良い番組作りをする検討材料とします。

7 審議会の内容の公表

公表の方法 自社ホームページにて公表
(http://www.coast-fm.com/aboutcompany_council.html)
公表内容 番組審議会議事録
公表年月日 2020年12月9日

8 その他の参考事項

次回番組審議会は、2021年1月15日(金)17:30より開催

以上